

第62回日本実験動物学会総会 プログラム

総合プログラム

日本実験動物学会通常総会

5月29日(金) 13:00～13:40 第1会場

学会賞授与式および受賞講演

5月29日(金) 13:45～15:30 第1会場

■安東・田嶋賞

【L-1】伊藤 守 ((公財) 実験動物中央研究所)

「ヒト化マウス創出をめざした免疫不全マウスの開発研究とその歴史」

■奨励賞

【L-2】吉見 一人 (京都大学大学院医学研究科)

「ゲノム編集技術を用いた遺伝子改変ラットの開発研究」

【L-3】香月 康宏 (鳥取大学 大学院医学系研究科、染色体工学研究センター)

「染色体工学技術を用いた新規トランスクロモソミック動物作製システムの開発」

■功労賞

関口 富士男 (ハムリー (株))

■最優秀論文賞

「新規大腸炎モデルである $Rag2^{-/-}Il1rn^{-/-}$ マウスにおいては ILC3 細胞由来 IL-17A が病態形成に重要な役割を果たしている」

秋津 葵¹⁻³⁾・角田 茂¹⁾・西城 忍¹⁾・岩倉洋一郎¹⁻³⁾

¹⁾ 東京大学医学研究所システム疾患モデル研究センター分子病態研究分野

²⁾ 東京大学理学系研究科

³⁾ 東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門

Experimental Animals Vol. 63, No. 2, 235–246, 2014

■国際賞

【INT-1】 Jin-Hee Seo (韓国)

【INT-2】 Tsai-Jung Lin (台湾)

【INT-3】 Kasem Rattanapinyopituk (タイ)

【INT-4】 Mikaela Angelica Villablanca (フィリピン)

【INT-5】 Hasliza Abu Hassim (マレーシア)

【INT-6】 Zhenkun Li (中国)

【INT-7】 Jassia Pang (シンガポール)

【INT-8】 Silvia Arin Prabandari (インドネシア)

発表日時：5月29日(金) 9:00～11:30

会 場：第3会場

特別講演

5月29日(金) 16:00～17:00 第1会場

テーマ：再生医療の最前線

座長：喜多 正和(京都府立医科大学)

PL-1 iPS細胞を用いたパーキンソン病治療に向けて
高橋 淳(京都大学 iPS細胞研究所)

シンポジウム1(日本製薬工業協会企画)

5月28日(木) 9:00～12:00 第1会場

テーマ：製薬企業に対する第三者認証機関のあり方

座長：渡部 一人(中外製薬株式会社)、塩谷 恭子((独)国立循環器病研究センター)

- S1-1 シンポジウムの趣旨
渡部 一人(日本製薬工業協会、中外製薬株式会社)
- S1-2 製薬企業の状況
渡辺 秀徳(日本たばこ産業株式会社)
- S1-3 安研協の状況
中川 賢司(株式会社イナリサーチ)
- S1-4 HS財団における外部検証の現状と今後
佐々木 弥生((公財)ヒューマンサイエンス振興財団)
- S1-5 製薬企業における外部検証 何を指すべきなのか
打越 綾子(成城大学法学部)

シンポジウム2(実験動物感染症対策委員会企画)

5月28日(木) 13:00～16:00 第1会場

テーマ：感染症の予防と治療に貢献する動物実験

座長：喜多 正和(京都府立医科大学)、山田 靖子(国立感染症研究所)

- S2-1 動物モデルを用いたヘリコバクター・ピロリ感染症の治療法の開発
喜多 正和(京都府立医科大学大学院医学研究科)
- S2-2 霊長類モデルを用いたH I V感染症の予防・治療法開発
三浦 智行(京都大学ウイルス研究所)
- S2-3 エボラ出血熱
高田 礼人(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)
- S2-4 デングウイルス感染霊長類モデルの開発
高崎 智彦(国立感染症研究所ウイルス第一部)

シンポジウム3 (学術集会委員会企画)

5月28日(木) 16:00～19:00 第1会場

テーマ：ゲノム編集が導く実験動物のパラダイムシフト

座長：伊川 正人(大阪大学)、真下 知士(京都大学)

- S3-1 Cas9/sgRNA/DNA 複合体結晶構造に基づく Cas9 によるゲノム切断機構の構造基盤
濡木 理¹、西増 弘志¹、石谷 隆一郎¹、Zhang Feng² (¹東京大学大学院理学系研究科、²ブロード研究所、マサチューセッツ工科大学)
- S3-2 部位特異的スクレアーゼを用いた培養細胞や動物でのゲノム編集
山本 卓(広島大学大学院理学研究科)
- S3-3 CRISPR/Casを用いたマウスゲノム編集の実際
高橋 智、水野 聖哉、杉山 文博、八神 健一(筑波大学 生命科学動物資源センター、医学医療系解剖学・発生学)
- S3-4 CRISPR/Casシステムによる GFP ノックインラットの作製
真下 知士、吉見 一人、金子 武人(京都大学大学院医学研究科)
- S3-5 CRISPR/Cas9による遺伝子破壊ウサギの作製とその展開
本多 新(宮崎大学テニユアトラック推進機構、理化学研究所バイオリソースセンター)
- S3-6 霊長類におけるゲノム編集
佐々木 えりか(慶應義塾大学先端研究センター、(公財)実験動物中央研究所)
- S3-7 ゲノム編集法の HIV 感染症治療への有用性
蝦名 博貴、上田 修平、三沢 尚子、金村 優香、小柳 義夫(京都大学ウイルス研究所)
- S3-8 疾患 iPS 細胞における病原変異遺伝子のゲノム手術
堀田 秋津(京都大学 iPS 細胞研究所)

シンポジウム4 (動物福祉・倫理委員会企画)

5月29日(金) 9:00～12:00 第1会場

テーマ：動物福祉(3R)に貢献している動物実験

座長：三好 一郎(東北大学)、國田 智(自治医科大学)

- S4-1 動物の安楽死に関するガイドライン：2013年度版(米国獣医学会)
鈴木 真(沖縄科学技術大学院大学)
- S4-2 マウス体内の非侵襲近赤外蛍光イメージングの確立と応用
三輪 佳宏^{1,2}、田中 順子²、坂口 翔太³、杉山 由香³、逆井 智貴³、黒山 喬允³、河村 光佑³、濱田 理人^{1,2}、高橋 智^{1,2} (筑波大学 ¹生命科学動物資源センター、²医学医療系、³大学院人間総合科学研究科)
- S4-3 イメージング技術が変える動物実験：micro-CT イメージングの3Rsへの応用、及びその可能性
田村 勝(理化学研究所バイオリソースセンター)
- S4-4 計画的に開発・維持された遺伝子改変マウスへの置き換えによる3Rsの実践
堤 秀樹((公財)実験動物中央研究所)

シンポジウム5

5月30日(土) 9:00～12:00 第1会場

テーマ：動物園でのサイエンス

座長：岡本 宗裕(京都大学)、庫本高志(京都大学)

- S5-1 動物園動物の幸福のためにできることー京都市動物園の取り組みの紹介ー
田中 正之(京都市動物園生き物・学び・研究センター、京都大学野生動物研究センター)
- S5-2 動物園の科学
村田 浩一(日本大学生物資源科学部、よこはま動物園ズーラシア)
- S5-3 動物園水族館と研究者で培う動物学研究ー希少種における飼育下での保全繁殖研究を例にー
木下 こづえ(京都大学霊長類研究所)
- S5-4 イルカの臨床治療の中に見るサイエンス
柳澤 牧央((一財)沖縄美ら島財団)

シンポジウム6

5月30日(土) 13:00～16:00 第1会場

テーマ：動物実験に関連する最近の話題

座長：桑村 充(大阪府立大学)、喜多 正和(京都府立医科大学)

- S6-1 名古屋議定書について
渡邊 淳¹、鈴木 睦昭²(¹文部科学省研究振興局ライフサイエンス課、²国立遺伝学研究所知的財産室)
- S6-2 マウスはヒト疾患のモデルになるー精神疾患と炎症性疾患の研究からー
宮川 剛(藤田保健衛生大学総合医科学研究所)
- S6-3 人から動物、そしてヒトへ
ー遺伝要因と環境要因に着目した脳形成異常の発生病態解明を目指してー
伊東 恭子(京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

ワークショップ1

5月28日(木) 9:00～12:00 第2会場

テーマ：実験動物における生殖技術最前線

座長：金子 武人(京都大学)、松田 潤一郎((独)医薬基盤研究所)

- W1-1 生殖幹細胞移植による凍結細胞由来のメダカ個体作出
関 信輔(東京大学医科学研究所)
- W1-2 ラットにおける生殖技術の開発と応用
金子 武人(京都大学大学院医学研究科)
- W1-3 鳥類における生殖工学技術の進展
鏡味 裕(信州大学 学術研究院農学系、先鋭領域融合研究群)
- W1-4 ブタにおける生殖工学の現状
菊地 和弘((独)農業生物資源研究所)
- W1-5 サル類の生殖基盤技術の現状
山海 直((独)医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター)

ワークショップ2

5月29日(金) 9:00～12:00 第2会場

テーマ：まるごとゼブラー実験動物としてのゼブラフィッシュ

座長：塩谷 恭子((独)国立循環器病研究センター)、
小山 公成(アステラスリサーチテクノロジー株式会社)

W2-1 実験動物としてのゼブラフィッシュ入門

岡本 仁(理化学研究所脳科学総合研究センター)

W2-2 ゼブラフィッシュの系統管理と遺伝学研究への活用

政井 一郎(沖縄科学技術大学院大学)

W2-3 ゼブラフィッシュのイメージングによる心臓・血管発生機構の解明

福井 一¹、中嶋 洋行¹、福原 茂朋¹、望月 直樹^{1,2} (¹(独)国立循環器病研究センター研究所、
²日本科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業)

W2-4 ゼブラフィッシュ創薬と個別化医療の新展開

田中 利男¹、西村 有平^{1,2}、島田 康人^{1,2} (三重大学 ¹大学院医学系研究科、²メディカルゼブラ
フィッシュ研究センター)

ワークショップ3(日本実験動物技術者協会企画)

5月30日(土) 9:00～12:00 第2会場

テーマ：研究者と技術者が支える実験動物科学の柱を再考する

座長：加藤 秀樹(浜松医科大学)、中潟 直己(熊本大学)

W3-1 遺伝育種の立場から

加藤 秀樹(浜松医科大学医学部、(公財)実験動物中央研究所)

W3-2 飼育技術の立場から

横山 峯介((公財)実験動物中央研究所、新潟大学脳研究所、東海大学医学部)

W3-3 生殖工学技術の立場から

中潟 直己(熊本大学生命資源研究・支援センター)

W3-4 感染症コントロールの立場から

高倉 彰((公財)実験動物中央研究所)

W3-5 施設管理の立場から

小木曾 昇((独)国立長寿医療研究センター研究所)

5月29日(金) 9:00～11:00 第3会場

座長：石川 明(名古屋大学)、竹尾 透(熊本大学)、岡村 匡史((独)国立国際医療センター)

INT-1 Therapeutic effects of lentivirus-mediated shRNA targeting of cyclin D1 in human gastric cancer

○Jin-Hee Seo^{1,2,3}, Eui-Suk Jeong^{1,2}, Yang-Kyu Choi^{1,2}

(¹Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Konkuk University, Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 143-701, Republic of Korea, ²Veterinary Science Research Institute, College of Veterinary Medicine, Konkuk University, Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 143-701, Republic of Korea, ³Laboratory Animal Facility, Korea Institute of Radiological and Medical Sciences, Seoul 139-706, Republic of Korea)

INT-2 The role of SPAK pathway in the pathogenesis IgA nephropathy

○T.J. Lin¹, J.C. Lin², J.M. Chang³, A. Chen², S.S. Yang⁴, S.M. Ka⁵

(¹Graduate Institute of Life Sciences, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, ROC, ²Department of Pathology, Tri-Service General Hospital, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, ROC, ³Department of Pharmacology, Institute for Drug Evaluation Platform, Development Center for Biotechnology, Taipei, Taiwan, ROC, ⁴Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Tri-Service General Hospital, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, ROC, ⁵Graduate Institute of Aerospace and Undersea Medicine, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, ROC)

INT-3 Methanolic Extract of Neem Flowers Enhanced the Chemopreventive Effects on Mouse Colon Carcinogenesis

○Kasem Rattanapinyopituk¹, Wanwisa Sanitchua¹, Waninee Mangkarach¹, Suthathip Kittisenachai², Janthima Jaresitthikunchai², Narumon Phaonakrop², Anudep Rungsipat³, Hathaitip Sritanaudomchai⁴, Sittiruk Roytrakul², Piengchai Kupradinun¹

(¹Research Division, National Cancer Institute, Bangkok, Thailand, ²National Center of Genetic Engineering and Biotechnology, Pathumthani, Thailand, ³Faculty of Veterinary Science, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand, ⁴Faculty of Dentistry, Mahidol University, Bangkok, Thailand)

INT-4 Therapeutic Effects of Honey and Propolis in Reducing the Neurologic Deficit and Neuronal Damage in the Hippocampus and Cerebral Cortex of Ischemic Stroke Rats

○Mikaela Angelica Villablanca¹, Jussiaea V. Bariuan¹, Therese Marie A. Collantes¹, Mark Joseph Desamero¹, Delia Gobonseng-Ang¹, Alejandro Fajardo Jr.², Cleofas R. Cervancia², Ma. Amelita C. Estacio¹

(¹Department of Basic Veterinary Sciences, College of Veterinary Medicine, University of the Philippines Los Baños, Laguna, Philippines, ²Institute of Biological Sciences, College of Arts and Sciences, University of the Philippines Los Baños, Laguna, Philippines)

INT-5 Effects of exercise and dietary polyunsaturated fatty acid intervention in alleviating the detrimental effects of streptozotocin-induced diabetes in rats

○Hassim H.A., Noordin M.M., Goh Y.M.

(Faculty of Veterinary Medicine, Universiti Putra Malaysia, 43400 UPM Serdang, Selangor, Malaysia)

INT-6 Selection of Genes Associated with Variations in the Circle of Willis in Gerbils by Using Suppression Subtractive Hybridization

○Zhenkun Li¹, Xueyun Huo¹, Shuangyue Zhang¹, Jing Lu¹, Changlong Li¹, Meng Guo¹, Rui Fu², Zhengming He², Xiaoyan Du¹, Zhenwen Chen¹

(¹Department of Laboratory Animal Science, School of Basic Medical Science, Capital Medical University, Beijing 100069, China, ²Institute for Laboratory Animal Resources, National Institutes for Food and Drug Control, Beijing 100050, China)

INT-7 The Effect of Chronic *Helicobacter pylori* Infection on the Response to Influenza A Challenge in Adult and Neonatal Mice

○J Pang^{1,2}, MA Estrin¹, NJ Hill¹, EJ Ma¹, NM Parry¹, M Ramachandran¹, L Shehata¹, A Kuan¹, JG Fox¹, JA Runstadler¹

(¹Division of Comparative Medicine, Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, USA, ²Biological Resource Centre, Biomedical Sciences Institute, Singapore, Singapore)

INT-8 Tissues Lesions Associated with Primary Infection of Dengue-3 Virus In Pigtailed Macaques (*Macaca nemestrina*)

○Silvia A. Prabandari¹, Diah Iskandriati^{1,2}, Uus Saepuloh¹, Esther Arifin¹, Joko Pamungkas^{1,3}

(¹Primate Research Center, Institut Pertanian Bogor, Indonesia, ²PT. Bimana Indomedical, Indonesia, ³Faculty of Veterinary Medicine, Institut Pertanian Bogor, Indonesia)

LASセミナー1 今さら聞けないES細胞、iPS細胞

5月28日(木) 9:00～11:30 (3階第2会議室)

企画：佐々木 えりか(慶應義塾大学/(公財)実験動物中央研究所)

1. ES細胞の基礎とその応用

講師：外丸 祐介(広島大学自然科学研究支援開発センター)

2. iPS細胞の基礎とその応用

講師：本多 新(宮崎大学テニュアトラック推進機構、理化学研究所バイオリソースセンター)

3. ES/iPS細胞の実験動物における有用性

講師：佐々木 えりか(慶應義塾大学先端研究センター、(公財)実験動物中央研究所)

4. ヒト疾患iPS細胞の可能性

講師：岡田 洋平(愛知医科大学神経内科)

LASセミナー2 遺伝子組換え動物(ゲノム編集と法規制)

5月29日(金) 9:00～11:30 (3階第2会議室)

企画：三浦 竜一(東京大学)

1. ゲノム編集による遺伝子組換え動物作製の現状と課題

講師：藤井 渉(東京大学大学院農学生命科学研究科)

2. 遺伝子組換え動物とカルタヘナ法

講師：三浦 竜一(東京大学ライフサイエンス研究倫理支援)

LASセミナー3 実験動物福祉

5月30日(土) 9:00～11:30 (3階第2会議室)

企画：塩見 雅志(神戸大学)、高井 了(中外製薬株式会社)

1. 動物実験実施体制の信頼性向上に向けた第三者認証の現状と必要性

講師：池田 卓也

2. 災害等の危機管理(緊急時対応)と動物福祉

講師：塩見 雅志(神戸大学大学院医学研究科)、小山 公成(アステラスリサーチテクノロジー株式会社)

ランチョンセミナー

5月28日(木) 12:00～13:00

LS-01 第2会場

共催企業：日本クレア(株)

マーモセット疾患モデル開発の現状と課題

講師：佐々木 えりか((公財) 実験動物中央研究所 マーモセット研究部)

座長：半田 昌明(日本クレア(株))

*話題提供：「日本クレア(株)のマーモセットレンタルラボのご紹介」

講師：鍵山謙介(日本クレア(株) 中動物事業部)

LS-02 第3会場

共催企業：日本エスエルシー(株)

塩誘導性キナーゼSIKの逆遺伝学と創薬

講師：竹森 洋((独) 医薬基盤・健康・栄養研究所 代謝疾患関連タンパク探索プロジェクト
プロジェクトリーダー)

座長：鈴木 登志郎(日本エスエルシー(株))

LS-03 第1会場

共催企業：(株) 夏目製作所

コモンマーモセットの飼育環境 —日本と欧州の比較—

講師：中村 克樹(京都大学霊長類研究所 行動神経研究部門 高次脳機能分野)

座長：山岸 義尚((株) 夏目製作所)

5月29日(金) 12:00～13:00

LS-04 第2会場

共催企業：(株) ケー・エー・シー

創立35周年研究助成事業「助成研究の中間報告」

・生体における酸化ストレスの重要性：ある疾患モデルラットから判ったこと

講師：森 政之(信州大学学術研究院 先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門)

・ミエリン異常ミュータントVFラットのミエリン蛋白輸送破綻メカニズムの解明

講師：桑村 充(大阪府立大学大学院 獣医病理学研究室)

座長：関 高樹((株) ケー・エー・シー 経営企画室)

LS-05 第3会場

共催企業：テクニプラスト・ジャパン(株)

ゼブラフィッシュ —今注目の水生動物 海外施設動向—

講師：Marco Brocca (Aquatic Solution Market Manager, TECNIPLAST S.pa)

座長：小野 富三人(大阪医科大学医学部生命科学講座生理学教室 教授)

LS-06 LAS セミナー会場 (3階 第2会議室)

共催企業：(株) トランスジェニック

細胞ストレスおよび炎症可視化モデルマウスの開発とその性能

講師：岩脇 隆夫(群馬大学大学院医学系研究科 大学院教育研究支援センター)

座長：濱藤 徹郎((株) トランスジェニック ジェノミクス事業本部)

5月30日(土) 12:00～13:00

LS-07 第2会場

共催企業：九動(株)

マウスにおける超過剰排卵誘起法

講師：中潟 直己(熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究部門(CARD)・資源開発分野)

座長：中務 胞(新潟大学脳研究所 基礎神経科学部門 細胞神経生物学分野)

LS-08 第3会場

共催企業：昭和セラミックス(株)

実験動物施設における環境制御への新たな挑戦Ⅱ

・光触媒技術を応用した有害化学物質およびアレルギーの分解除去

講師：木村 透(山口大学 共同獣医学部 病態制御学講座(実験動物学))

・実験動物飼育の衛生管理における光触媒技術の応用事例について
—長寿医療研究に用いるモデル動物の長期飼育から—

講師：小木曾 昇((独)国立長寿医療研究センター研究所 実験動物管理室)

座長：高岡 秀(昭和セラミックス(株) 光触媒事業部)

ホスピタリティールーム

5月28日(木)・29日(金) 9:00～17:00
30日(土) 9:00～15:00

【HR-03】ハムリー株式会社	会場：3階第3会議室
【HR-04】日本クレア株式会社	会場：3階第4会議室
【HR-09】日本チャールス・リバー株式会社	会場：1階第9会議室

機材展示

5月28日(木)・29日(金) 9:00～18:00
30日(土) 9:00～12:00

会場：2階セミナー室 中会議室、視聴覚研修室、ホールロビー

懇親会

5月29日(金) 18:00～20:00

会場：第一会場(テルサホール)

懇親会費 事前登録：8,000円
当日登録：10,000円

口頭発表

5月28日(木)
第2会場

5月28日(木)
第2会場

口頭発表1

口頭発表1

発生工学 I

発生工学 II

13:00 ~ 13:40 座長 近藤 玄(京都大学)

13:40 ~ 14:30 座長 杉山文博(筑波大学)

O-1 トランスジェニックマウスにおいて導入遺伝子が性染色体に組み込まれる確率の検討

○石川 直樹、笹子 敬洋、熊谷 勝義、窪田 直人、門脇 孝
(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)

O-2 マウス受精卵への顕微注入を介したターゲットトランスジェネシス法の改良

○大塚 正人¹、三浦 浩美¹、佐藤 正宏²、木村 穰¹
(¹東海大学・医学部・基礎医学系、²鹿児島大学・医用ミニブタセンター)

O-3 インジェクション法による *Mus caroli* テトラプロイドキメラマウスの作製

○長尾 恭光¹、戸塚 義和²、堀居 拓郎³、守谷 尚倫¹、小葉 清美¹、畑田 出穂³、徳永 智也⁴、花園 豊⁵、國田 智¹、今井 裕⁶、遠藤 仁司⁷
(¹自治医科大学実験医学センター、²株式会社特殊免疫研究所、³群馬大学生体情報ゲノムリソースセンター、⁴独立行政法人農業生物資源研究所、⁵自治医科大学分子病態治療研究センター再生医学研究部、⁶京都大学大学院農学研究科応用生物科学、⁷自治医科大学機能生化学講座)

O-4 マウス←ラットESキメラを介した遺伝子変異ラットの作出

○磯谷 綾子¹、小川 昌起³、田中 高大⁴、松村 貴史³、山縣 一夫²、岡部 勝²、伊川 正人^{1,2,3,4}
(¹大阪大学免疫学フロンティア研究センター、²大阪大学微生物病研究所、³大阪大学大学院薬学研究科、⁴大阪大学大学院医学系研究科)

O-5 日本産野生由来MSM a (*nonagouti*) ノックアウトマウスの作出とその表現型解析

○廣瀬 美智子¹、長谷川 歩未¹、持田 慶司¹、畑中 勇輝¹、本多 新^{1,2}、金田 秀貴¹、山田 郁子¹、古瀬 民生¹、阿部 訓也^{1,3}、若菜 茂晴¹、小倉 淳郎^{1,3}
(¹理研BRC、²宮崎大学デニュアトラック推進機構、³筑波大院生命環境科学研究科)

O-6 凍結受精卵を用いたCRISPR/Cas9システムによる遺伝子破壊マウスの作製

○中川 佳子¹、佐久間 哲史²、坂本 拓弥²、大村谷 昌樹³、山本 卓²、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻分子遺伝学研究室、³熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)技術開発分野)

O-7 CRISPR/Casシステムによる高効率ノックインマウスの作製

○堀居 拓郎¹、山崎 美帆^{1,2,3}、荒井 勇二⁴、森田 純代¹、木村 美香¹、伊藤 理廣³、安部 由美子²、畑田 出穂¹
(¹群馬大学生体調節研究所附属生体情報ゲノムリソースセンター、²群馬大学保健学研究科生体情報検査科学講座、³群馬中央病院産婦人科、⁴国立循環器病研究センター分子生物学部発生工学研究室)

O-8 ES細胞を介したCRISPR/Casシステムによるマウスゲノム編集とその有用性の検討

○大字 亜沙美、藤原 祥高、伊川 正人
(大阪大学微生物病研究所遺伝子機能解析分野)

O-9 エレクトロポレーション法を用いた新規遺伝子改変ラット作製法の開発

○金子 武人¹、佐久間 哲史²、山本 卓²、真下 知士¹
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻)

5月28日(木)
第2会場

口頭発表1

発生工学Ⅲ

14:30～15:20 座長 鈴木 治(医薬基盤研究所)

O-10 性周期の同期化による近交系マウスからの効率的な採卵法の検討

○長谷川 歩未、持田 慶司、小倉 淳郎
(理研BRC)

O-11 各種システイン類似体がマウス精子および卵子の受精能に及ぼす影響

○竹尾 透¹、堀越 裕佳¹、中尾 聡宏¹、椋木 歩¹、
福本 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、
竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
土山 修治¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学、²九動株式会社)

O-12 マウス二細胞期胚の冷蔵保存におけるN-アセチルシステインの有用性

○堀越 裕佳、中尾 聡宏、吉本 英高、椋木 歩、
竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)

O-13 ラット未成熟卵母細胞の体外成熟法の検討

○竹鶴 裕亮、金子 武人
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

O-14 イヌ卵巣組織のガラス化保存における細胞障害について

○鈴木 宏志、針谷 円
(帯広畜産大学原虫病研究センター)

5月28日(木)
第2会場

口頭発表1

発生工学Ⅳ

15:30～16:00 座長 磯谷綾子(大阪大学)

O-15 129系統由来ES細胞における血清条件での安定的な自己複製の遺伝的要因

○大塚 哲、丹羽 仁史
(理化学研究所多能性幹細胞研究チーム)

O-16 Jarid2過剰発現による効率的なiPS細胞誘導

○伊関 大敬^{1,2}、仲地 豊²、菱田 友昭²、菅原 泉²、
谷本 陽子¹、飯島 沙織¹、杉山 文博¹、八神 健一¹、
高橋 智¹、奥田 晶彦²、岡崎 康司²
(¹筑波大学生命科学動物資源センター、²埼玉医科大学ゲノム医学研究センター)

O-17 ノードマウス腰背部へ移植した羊膜上培養歯髄由来細胞シートの免疫組織化学的検討

○本城 賢一¹、山本 俊郎¹、雨宮 傑¹、金村 成智¹、
喜多 正和²
(¹京都府立医科大学大学院医学研究科歯科口腔科学、
²京都府立医科大学大学院医学研究科実験動物センター)

5月28日(木)
第2会場

口頭発表1

微生物・感染・免疫Ⅰ

16:00～16:30 座長 林元展人(実験動物中央研究所)

O-18 CARバチルスの系統分類

○池 郁生¹、梶田 亜矢子¹、坂本 光央²、小久保 年章³
(¹理研バイオリソースセンター実験動物開発室、²理研バイオリソースセンター微生物材料開発室、³放医研研究基盤センター)

O-19 *Helicobacter* sp. MIT01-6451 のマウスにおける垂直感染について

○山中 仁木、中西 太、高木 利一、大沢 牧子、
久保 憲昭、山本 直土、嶽本 剛平、大沢 一貴
(長崎大学先端生命科学支援センター比較動物医学分野)

O-20 老化促進モデルマウスを用いた新規インフルエンザ治療法の評価

○扇谷 えり子¹、喜多 正和¹、松田 修¹、今西 二郎²
(¹京都府立医科大学大学院医学研究科、²明治国際医療大学統合医療学)

5月28日(木)

第2会場

口頭発表1

微生物・感染・免疫Ⅱ

16:30～17:00 座長 大沢一貴(長崎大学)

O-21 ブタSLA-1アロタイプを識別するモノクローナル抗体の作製

○大島 志乃¹、宮本 あすか¹、重成 敦子¹、高須 正規²、今枝 紀明²、北浦 一孝³、田中 正史¹、北川 均²、平山 令明⁴、鈴木 隆二³、安藤 麻子¹、亀谷 美恵¹
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²岐阜大学応用生物科学部獣医学講座、³国立病院機構・相模原病院、⁴東海大学・糖鎖化学研究所)

O-22 HCVベースのHCV/GBV-Bキメラウイルスはタマリンへ長期感染する

○鈴木 紗織¹、東濃 篤徳¹、森 健一²、片貝 祐子³、横 昇²、明里 宏文¹
(¹京都大学霊長類研究所、²(株)先端生命科学研究所、³(社)予防衛生協会)

O-23 サル指向性HIV-1の*in vivo*における増殖効率を上昇させる要因

○関 洋平¹、芳田 剛^{1,5}、齊藤 暁¹、松岡 和弘²、大出 裕高²、岩谷 靖雅²、保富 康宏³、俣野 哲朗⁴、三浦 智行⁵、杉浦 互²、明里 宏文^{1,5}
(¹京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター、²(独)国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター、³(独)医薬基盤研究所・霊長類医学研究センター、⁴国立感染症研究所・エイズ研究センター、⁵京都大学ウイルス研究所・附属感染症モデル研究センター)

5月28日(木)

第2会場

口頭発表1

薬理・安全性

17:00～17:30 座長 明里宏文(京都大学)

O-24 薬物の抗炎症作用の解析研究におけるラットから調製した初代培養肝細胞の有用性

○西澤 幹雄¹、奥山 哲矢¹、稲葉 宏幸^{1,2}、池谷 幸信³、奥村 忠芳^{4,5}
(¹立命館大学生命科学部、²ライオン株式会社研究開発本部、³立命館大学薬学部、⁴立命館大学総合科学技術研究機構、⁵関西医科大学外科学)

O-25 肥満性2型糖尿病モデルマウスであるKK-A^yへのローヤルゼリー投与による血糖値・体重への影響

○渡谷 理沙、佐々木 大樹、古藤 惇、脊戸 優、谷田 彩花、本田 洗平、松本 耕三
(京都産業大学大学院生命科学研究科)

O-26 自己炎症性症候群モデルマウスにおける自然免疫系のシグナル伝達異常による炎症発生機構の解析

○阿部 幸一郎¹、布村 聡²、羅 智靖²、田嶋 敦³
(¹東海大学医学部分子生命科学、²日本大学医学部、³金沢大学医薬保健研究域医学系)

5月28日(木)

第3会場

口頭発表2

遺伝・育種・遺伝子機能Ⅰ

9:00～9:30 座長 大野民生(名古屋大学)

O-27 脳卒中感受性遺伝子領域をターゲットとした新たなダブルコンジュニックラットの作成

○松尾 裕之、新谷 薫、星野 仁美、ザヒド ハサン、オドンゴ バトバヤル、並河 徹
(島根大学医学部病態病理学)

O-28 LEAラットにおける抗肥満遺伝子の探索

○清水 有紀子¹、高梨 理絵子¹、岡村 匡史^{1,2}
(¹国立国際医療研究センター研究所動物実験施設、²ヒト型動物開発研究室)

O-29 選択交配およびコンピュータシミュレーションを用いた従順性行動に関わる遺伝子座の同定

○松本 悠貴¹、西野 穰³、後藤 達彦^{1,4}、小出 剛^{1,2}
(¹国立遺伝学研究所系統生物研究センター、²総合研究大学院大学生命科学研究科、³名古屋大学大学院医学系研究科、⁴茨城大学農学部)

5月28日(木)

第3会場

口頭発表2

遺伝・育種・遺伝子機能Ⅱ

9:30～10:00 座長 吉川欣亮(東京都医学総合研究所)

O-30 トランスクリプトーム解析によるマウス成長関連形質QTLの候補遺伝子の探索

○石川 明
(名古屋大学大学院生命農学研究科応用遺伝・生理学講座)

O-31 マウス亜種間表現型多様性を生むアレル発現量差のゲノムワイド解析

○高田 豊行¹、近藤 伸二²、阿部 貴志³、清澤 秀孔⁴、豊田 敦⁵、藤山 秋佐夫⁵、城石 俊彦¹

(¹国立遺伝学研究所哺乳動物遺伝研究室、²情報・システム研究機構新領域融合研究センター、³新潟大学工学部情報工学科、⁴高知大学医学部、⁵国立遺伝学研究所比較ゲノム解析研究室)

O-32 発がん抵抗性遺伝子座 *Stmm3* の探索と機能解析

○齋藤 慈¹、奥村 和弘¹、磯貝 恵理子¹、三浦 郁生²、若菜 茂晴²、木南 凌³、若林 雄一¹

(¹千葉県がんセンター研究所実験動物研究室、²理化学研究所BRC表現型解析開発チーム、³新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御講座分子生物学分野)

5月28日(木)

第3会場

口頭発表2

疾患モデル I

10:00 ~ 10:40

座長 森 政之(信州大学)

O-33 バルプロ酸投与をモデルとした脊柱形態異常における Hox 遺伝子群のグローバルな発現変化

○谷本 祥¹、谷口 真沙美¹、持田 譲治²、阿部 幸一郎¹

(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東海大学医学部外科学系整形外科学)

O-34 思春期特発性側弯症の新規モデルである KTA41 変異マウスの骨格解析

○佐川 暢保¹、Fuchs Helmut²、Sabrautzki Sibylle²、Hrabe de Angelis Martin²、太田 聡史³、安藤 潔⁴、阿部 幸一郎¹

(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²Helmholtz zentrum Muenchen, Institute of Experimental Genetics、³独立行政法人理化学研究所バイオリソースセンター情報解析技術室、⁴東海大学医学部血液・腫瘍内科学)

O-35 DNASE1-like 2 の量的変化は、ヒト 16p13.3 微小欠損症の原因か？

○小澤 恵代、廣田 和之、土岐 秀明、若菜 茂晴、田村 勝

(理化学研究所バイオリソースセンター)

O-36 内耳外有毛細胞選択的破壊マウスを用いた特異遺伝子の探索

○松岡 邦枝¹、安田 俊平¹、宮坂 勇輝¹、和田 健太²、設楽 浩志³、山口 碧³、多屋 長治³、吉川 欣亮¹

(¹東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト、²東京農業大学生物産業学部、³東京都医学総合研究所遺伝子改変動物室)

5月28日(木)

第3会場

口頭発表2

疾患モデル II

10:40 ~ 11:20

座長 横井伯英(神戸大学)

O-37 新たなアトピー性皮膚炎ラットモデルの開発

○庫本 高志¹、横江 蘭子¹、由利 梓¹、西谷 あい¹、田中 大資¹、日合 弘²、芹川 忠夫^{2,3}

(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²京都大学医学研究科、³大阪薬科大学)

O-38 無眼球症ラット NAK/Nokh における RNA-seq 解析

○大久保 咲¹、内山 博允²、石原 真吾³、橋詰 良一^{1,3}、吉川 欣亮⁴、和田 健太^{1,3,4}

(¹東京農業大学大学院生物産業学研究所、²東京農業大学生物資源ゲノム解析センター、³東京農業大学大学院生物産業学部、⁴東京都医学総合研究所・哺乳類遺伝プロジェクト)

O-39 卵胞成熟過程におけるエピジェネティックな転写調節機構の解析

○鈴木 仁美¹、ライコヴィッチ アレクサンダー²、金井 正美¹

(¹東京医科歯科大学疾患モデル動物解析学分野、²ピッツバーグ大学産科学-生殖科学科)

O-40 日本マウスクリニックにおけるマウス管理システム(RIKEN LIMS)の更新

○小林 喜美男¹、鈴木 智広¹、金田 秀貴¹、三浦 郁生¹、尾崎 藍¹、白田 大輝¹、渡口 清太²、宮城 哲²、若菜 茂晴¹、榎屋 啓志²

(¹理研BRCマウス表現型解析開発チーム(日本マウスクリニック)、²理研BRCマウス表現型知識化研究開発ユニット)

5月28日(木)

第3会場

口頭発表3

管理・施設・倫理・福祉 I

13:00 ~ 13:30座長 津村秀樹(国立生育医療研究センター)

O-41 ソフト水熱プロセスによる乾燥工程を必要としない新しい滅菌器の開発(プロトタイプ)

○宮本 徹^{1,3}、古畑 貞彦²、笠井 憲雪¹、渡辺 伸洋³、林 志成³

(¹東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設、²信州大学医学部附属病院手術部、³株式会社前田製作所)

O-42 過酸化水素の液相および気相状態による除染作用に対する影響

○木村 透¹、八幡 裕之²、市原 広信²
(¹山口大学共同獣医学部病態制御学講座(実験動物学)、
²サンタサーロ&ステリープロソリューション株式会社)

O-43 マウスにおける長期飼育に適した床敷材の検討

○富田 耕平¹、小木曾 昇²、高野 聡美²、山口 一路^{1,2}、
六車 香織²
(¹(株)ケー・エー・シー、²国立研究開発法人国立長寿
医療研究センター実験動物管理室)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

管理・施設・倫理・福祉Ⅱ

13:30～14:00 座長 林 直木(オリエンタル酵母工業(株))

O-44 カニクイザルにおけるヒトへの親和性強化トレーニングの雌雄差について

○西本 愛、立花 勇氣、高浦 薫、越智 武洋、
小山 公成
(アステラスリサーチテクノロジー株式会社)

O-45 動物を介して生命倫理観を高めるトレーニングプログラム構築の試み

○壹岐 裕子、伊藤 拓哉、兼平 雅彦、工藤 克昌、
野田 雅史、海野 倫明
(東北大学病院先端医療技術トレーニングセンター)

O-46 Thorough and expedited review of protocols in an academic institute using an a-synchronous IACUC software

○Rony Kalman
(Authority for Biological and Biomedical Models, Hebrew
University, Jerusalem Israel)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

実験手技・代替・麻酔・鎮痛

14:00～14:30

座長 瀬戸山健太郎(鹿児島大学)

O-47 ブタ臓器を用いた医療用トレーニング担体の作出および評価

○寺谷 工¹、牧村 幸敏¹、半田 紀子¹、笠原 尚哉²、
浦橋 泰然³、高山 達也⁴、菱川 修司⁵、小林 英司¹、
國田 智¹

(¹自治医科大学動物資源開発部門、²自治医科大学消化器一般外科、³自治医科大学移植外科、⁴自治医科大学泌尿器科、⁵自治医科大学医療技術トレーニング部門)

O-48 心電計によるマウス胎仔の心機能発達評価

○伊藤 拓哉¹、木村 芳孝¹、杉林 里佳^{1,2}、船本 聖絵¹、
董 宇鵬¹、遠藤 美雪¹、飯田 溪太¹

(¹東北大学大学院医学系研究科融合医工学分野、²国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター胎児診療科)

O-49 心機能評価にMRIを用いる動物実験におけるテレメトリー法の適用

○牧村 幸敏¹、平野 暁教²、藤田 淳³、菱川 修司¹、
國田 智¹

(¹自治医科大学先端医療技術開発センター、²慶應義塾大学心臓血管外科、³慶應義塾大学循環器内科)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

栄養・生理・生化学

14:30～15:00

座長 田島 優(大阪大学)

O-50 テレメトリー法による仔ラットの離乳前後の体温リズムについて

○若井 淳¹、加藤 弘毅²、片平 清昭²、関口 美穂^{1,2}

(¹福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設、²福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター)

O-51 マウス高脂肪食負荷モデルにおける乳酸菌の抗肥満効果

○米島 靖記¹、久 景子¹、酒井 ゆうこ²、喜多 正和²
(¹日東薬品工業株式会社、²京都府立医科大学)

O-52 マウスモデルを用いたDOHaD仮説の実証4：新規母体低栄養モデルマウスの開発

○古瀬 民生¹、幸田 尚²、三宅 邦夫³、平澤 孝枝⁴、串田 知子¹、山田 郁子¹、柏村 実生¹、金田 秀貴¹、小林 喜美男¹、石野 史敏³、久保田 健夫³、若菜 茂晴¹
(¹理研BRC日本マウスクリニック、²東京医科歯科大学・難治疾患研究所・エビジェネティクス分野、³山梨大学・総合研究部・環境遺伝医学講座、⁴帝京大学理工学部バイオサイエンス学科)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

脳・神経・行動

15:00～15:40 座長 天尾弘実(日本獣生命科学大学)

O-53 マウスのアセチルコリンに対する感受性を決定する遺伝因子の解析

○田中 聖一¹、一之瀬 岳夫³、松山 充²、高屋敷 優子²、永島 博²、鳥越 大輔⁴、森松 正美³、安居院 高志³
(¹福岡大学アニマルセンター、²(株)アニマルケア、³北海道大学大学院獣医学研究科実験動物学教室、⁴熊本大学生命資源研究・支援センター)

O-54 MSM/Ms マウスの不安様行動関連遺伝子の同定とその機能解析

○田邊 彰^{1,2}、高橋 阿貴^{1,3}、小出 剛^{1,4}
(¹遺伝研・マウス開発、²新領域融合研究センター、³筑波大学、⁴総合研究大学院大学)

O-55 集団飼育下で社会的順位が最下位の雄マウスは、最上位の個体と比べて不安様・うつ様形質を示す

○堀井 康行¹、長澤 達弘²、田邊 彰¹、高橋 阿貴^{1,3}、下位 香代子²、小出 剛¹
(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²静岡県立大学生体機能学研究室、³筑波大学人間系)

O-56 マウスの脳の発達におけるTimeless発現の免疫組織化学的解析

○稲熊 裕、伊東 秀記、田畑 秀典、永田 浩一
(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

加齢・老化

15:50～16:20 座長 高橋英機(理化学研究所)

O-57 神経変性疾患ハンチントン病を抑制する転写因子群とその分子機構

○林田 直樹
(山口大学医学部生化学第二教室)

O-58 ストレス高感受性(高回避系)ラットは低感受性(低回避系)ラットより寿命が短い

○太田 亮、熊谷 文明、丸茂 秀樹、白見 憲司、齊藤 義明、桑形 麻樹子
(一財)食品薬品安全センター秦野研究所)

O-59 老化ラットの育成と制限給餌が寿命に与える影響

○野田 義博¹、前川 尚子^{1,2}、武藤 大樹^{1,2}、宮澤 優衣^{1,2}、高橋 洋子^{1,2}、遠藤 玉夫¹
(¹東京都健康長寿医療センター研究所実験動物施設、²株式会社ケー・エー・シー)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

繁殖・系統開発

16:20～16:50 座長 外丸祐介(広島大学)

O-60 定量的ライブイメージングによる哺乳類卵活性化メカニズムの解析

○野澤 香織^{1,2}、佐藤 裕公¹、山縣 一夫¹、伊川 正人^{1,2}
(¹大阪大学微生物病研究所、²大阪大学医学系研究科)

O-61 マウス遺伝性雄低受胎と精子形態異常

○後藤 英夫
(農業生物資源研究所農業生物先端ゲノム研究センター)

O-62 高度免疫不全マウスNOD/SCID/JAK3null mouseの繁殖効率化

○坂口 摩姫¹、三小田 伸之¹、中村 智¹、松田 幸樹²、服部 真一郎²、岡田 誠治²
(¹九動株式会社、²熊本大学エイズ学研究センター)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

解剖・組織・病理・病態

16:50～17:20 座長 中村紳一朗(滋賀医科大学)

O-63 DDT長期投与ラット肝におけるレトロトランスポゾンの変動

○武田 眞記夫、大塚 亮一、山口 悟、中島 信明、原田 孝則
(一般財団法人残留農薬研究所)

O-64 Wntシグナル活性化による胃上皮細胞の分化・増殖制御機構の破綻：胃癌の発生・進展機構の解析

○平田 暁大¹、山田 泰広²、富田 弘之³、塚本 徹哉⁴、原 明³
(¹岐阜大学生命科学総合研究支援センター動物実験分野、²京都大学iPS細胞研究所、³岐阜大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野、⁴藤田保健衛生大学医学部病理診断科)

O-65 CLP敗血症ラットモデルにおけるβ2交感神経受容体(β2AR)とステロイド治療の腎臓に対する影響

○宮川 誠¹、黒崎 くみ子²、中村 明夫²
(¹帝京大学板橋キャンパス中央実験動物施設、²帝京大学医学部小児科学講座)

5月28日(木)
第3会場

口頭発表3

疾患モデルⅢ

17:20～17:50 座長 田村 勝(理化学研究所)

O-66 条件的K-ras活性型モデルに誘導される多形型横紋筋肉腫形成細胞は間葉系幹細胞の遺伝子発現を示す

○鈴木 昇¹、伊藤 浩子²、齋藤 浩充¹
(¹三重大学生命科学研究支援センター機能ゲノミクス分野動物機能ゲノミクス部門、²三重大学生物資源学部)

O-67 癌型K-Ras変異後の肺発癌感受性に関わるQTLの探索

○齋藤 浩充、山口 諒也、鈴木 昇
(三重大学生命科学研究支援センター機能ゲノミクス分野動物機能ゲノミクス部門)

O-68 子宮頸ガン発症におけるメカニズムの検討

○熊谷 勝義¹、高梨 正勝²、大野 慎一郎²、西 洋孝³、須藤 カツ子¹、黒田 雅彦²
(¹東京医科大学大学機能関連分野動物実験センター、²東京医科大学分子病理学分野、³東京医科大学産婦人科学分野)

5月30日(土)
第3会場

口頭発表4

遺伝・育種・遺伝子機能Ⅲ

9:00～9:40 座長 小出 剛(国立遺伝学研究所)

O-69 副甲状腺ホルモンのマウス皮膚腫瘍形成における機能

○奥村 和弘¹、齋藤 慈¹、磯貝 恵理子¹、三浦 郁生²、若菜 茂晴²、鳥貫 碧³、設楽 浩志³、多屋 長治³、木南 凌⁴、若林 雄一¹
(¹千葉県がんセンター実験動物研究室、²理化学研究所BRCマウス表現型解析開発チーム、³公益財団法人東京都医学総合研究所基盤技術研究センター動物実験開発室、⁴新潟大学大学院医歯学総合研究科)

O-70 破骨細胞機能における亜鉛トランスポーター ZIP14の役割

○古市 達哉¹、佐々木 俊¹、市村 鋭¹、北條 慎太郎^{2,3}、深田 俊幸^{2,4}
(¹岩手大・共同獣医・実験動物学研究室、²理研・総合生命医科学研究センター、³ドイツリウマチ疾患研究センター、⁴昭和大学・歯学部・口腔病理学部門)

O-71 マウス胎盤のサイズ調節と層構造形成におけるPLAC1の機能解析

○武藤 真長¹、藤原 祥高²、伊川 正人^{1,2}
(¹大阪大学薬学研究科創成薬学専攻、²大阪大学微生物病研究所)

O-72 マウス体軸形成に対するKdm6ファミリーの関与

○成瀬 智恵^{1,2}、柴田 進和²、阿部 可奈恵²、川口 隆之²、杉原 一司^{1,2}、伊川 正人³、浅野 雅秀^{1,2}
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²金沢大学学際科学実験センター遺伝子改変動物分野、³大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター遺伝子機能解析分野)

5月30日(土)
第3会場

口頭発表4

遺伝・育種・遺伝子機能IV

9:40～10:10 座長 高田豊行(国立遺伝学研究所)

- O-73 発生過程の水晶体におけるトランケート型PITX3の発現はマウスの小眼球・無水晶体症を引き起こす
○和田 健太^{1,2}、松島 芳文³、多田 智記¹、吉澤 康博¹、長谷川 清香¹、高貫 碧²、渡部 桂²、吉川 欣亮²
(¹東京農業大学、²東京都医学総合研究所、³埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所)
- O-74 マウス成熟内耳における *Lrrc30* の高発現と加齢性難聴抑制効果の関連を探索！
○宮坂 勇輝^{1,2}、安田 俊平¹、関 優太¹、松岡 邦枝¹、日比野 浩²、木南 凌²、吉川 欣亮^{1,2}
(¹東京都医学総合研究所・哺乳類遺伝プロジェクト、²新潟大学大学院・歯学総合研究科)
- O-75 *Mip* 変異に起因した白内障発症におけるヒト、マウスおよびラット間の遺伝様式の種特異性
○吉川 欣亮¹、渡部 桂¹、関 優太¹、安田 俊平¹、竹鶴 裕亮²、金子 武人²、真下 知士²、庫本 高志²、和田 健太^{1,3}、設楽 浩志¹
(¹東京都医学総合研究所、²京都大学大学院、³東京農業大学)

5月30日(土)
第3会場

口頭発表4

疾患モデルIV

10:10～10:40 座長 橋本憲佳(金沢大学)

- O-76 遺伝子改変慢性膵炎モデルマウスではオートファジー不全とネクロプトーシスが誘導される
○大村谷 昌樹、荒木 喜美、山村 研一
(熊本大学生命資源研究支援センター)
- O-77 つくば高血圧マウスを用いたレニン遺伝子高血圧応答性の解析
○牛木 亜季¹、深水 昭吉^{2,3}、谷本 啓司^{2,3}
(¹筑波大・院・生命環境、²筑波大・生命環境系、³筑波大・TARAセンター)

O-78 小型霊長類において持続感染したヘパチウイルスゲノムの経時的変異

○東濃 篤徳^{1,2,3,4}、鈴木 紗織¹、森 健一²、大出 裕高³、松岡 和弘³、片貝 祐子⁴、岡林 佐知⁴、榎 昇²、岩谷 靖雅³、杉浦 互³、明里 宏文¹
(¹京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター、²先端生命科学研究所、³独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、⁴社団法人予防衛生協会)

5月30日(土)
第3会場

口頭発表4

疾患モデルV

10:40～11:20 座長 高橋 智(筑波大学)

- O-79 新規肥満・2型糖尿病モデルZFDマウスにおける糖尿病発症前の表現型解析
○横井 伯英¹、山口 拓郎¹、グブルジャン ゲニ¹、別府 正悠¹、日高 志保美¹、川畑 綾子¹、星野 貴一²、星野 雅行²、清野 進¹
(¹神戸大学大学院医学研究科分子代謝医学、²(株)星野試験動物飼育所)
- O-80 戦略的モデル動物作製による、肥満に伴う2型糖尿病発症原因遺伝子解明(1)
○佐々木 大樹¹、古藤 惇¹、渡谷 理沙¹、脊戸 優²、谷田 彩花²、本田 洗平²、松本 耕三^{1,2}
(¹京都産業大学大学院生命科学研究科、²京都産業大学総合生命科学部)
- O-81 戦略的モデル動物作製による肥満に伴う2型糖尿病発症原因遺伝子解明(2)
○古藤 惇¹、佐々木 大樹¹、渡谷 理沙¹、脊戸 優²、谷田 彩花²、本田 洗平²、松本 耕三¹
(¹京都産業大学生命科学研究科、²京都産業大学総合生命科学部)
- O-82 WHHLMIウサギを用いた冠動脈プラークの発生・進展過程の検討
○小池 智也¹、ユウ イン¹、山下 篤²、永坂 亮輔¹、山田 悟士¹、浅田 祐士郎²、塩見 雅志^{1,3}
(¹神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野、³神戸大学大学院医学研究科疾患モデル動物病態生理学分野)

ポスター発表

5月28日(木)
9:00-18:00

管理・施設・倫理・福祉

- P-1 N95/DS2規格マスク製品間のフィット性の差
○杉本 達也¹、荒木 真佐子²、神田 政典³、
安藤 眞理⁴、大島 岳夫¹
(¹塩野義製薬(株)、²シオノギ総合サービス(株)、
³シオノギテクノアドバンスリサーチ(株)、⁴(株)重松
製作所)
- P-2 ホルマリン燻蒸に代わる過酢酸系除菌剤を用いた新
たな除染方法の検討
汲田 和歌子¹、○榊 昭雄²、佐藤 賢哉¹、岡原 則夫¹、
佐々木 えりか^{1,3}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所応用発生学研究セ
ンター、²ファーマバイオインストルメント株式会社、
³慶應義塾大学)
- P-3 二酸化塩素ガスによる消毒効果の検討
○白崎 康文¹、松浦 歩²、伊藤 香織²、植柳 雅士²、
伊藤 由広²、林 俊昭²
(¹第一三共RDノバーレ(株)生物評価研究部、²ハムリー
(株))
- P-4 微小昆虫チャタテムシの発生から駆除対応について
○小島 修樹¹、阿部 祐子²、安藤 隆一郎¹
(¹東北薬科大学実験動物センター、²株式会社ジェー・
エー・シー)
- P-5 Current Status of Laboratory Animal Facility in
Pharmacological Services at DCB
○何 士慶、蔡 咏葵、蔡 佩宜、周 芳如、張 嘉銘
(財団法人生物技術開発中心 薬物平台技術研究所 薬
理組)
- P-6 実験動物ブリーダー調査を通じた動物福祉・品質管
理体制強化の取組み
○山岸 大悟^{1,2}、須藤 宏和¹、伊藤 美佐江¹、
渡邊 利彦¹、溝口 啓二¹、高井 了¹
(¹中外製薬(株)、²中外医科学研究所(株))
- P-7 熊本大学CARDのマウスバンクサービスおよびマウ
ス飼育管理におけるデータベースサーバーの活用
○土山 修治¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、
近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、
梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、
竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源
開発分野、²九動株式会社)
- P-8 床敷き、金網、樹脂板の3種の異なる床材がラットの
実験データに及ぼす影響
○吉沢 隆浩¹、滝沢 章¹、嶋田 新¹、塩原 範久²、
小島 圭介²、金子 稔³、松本 清司¹
(¹信州大学ヒト環境科学研究支援センター動物実験部
門、²エーテック株式会社、³新東洋製作所)
- P-9 ラットでの床敷ケージ飼育と金網ケージ飼育での
食糞行動比較
○大西 平治朗、寺澤 一雄、越智 武洋、小山 公成
(アステラスリサーチテクノロジー株式会社)
- P-10 演題取り消し
- P-11 LED照明下での長期飼育がラットに与える影響評価
○若松 美枝¹、寺澤 一雄¹、春日 敏郎²、斉藤 直美²、
見鳥 光²、小山 公成¹
(¹アステラスリサーチテクノロジー株式会社動物管理
部、²アステラス製薬株式会社安全性研究所)
- P-12 光触媒技術の導入による実験動物施設の環境衛生管
理—老化動物育成における適正な飼育環境をめざし
て—
○小木曾 昇¹、高野 聡美¹、山口 一路²、富田 耕平²、
六車 香織¹
(¹国立長寿医療研究センター研究所、²(株)ケー・エー・
シー)
- P-13 実験動物施設におけるマウス肝炎ウイルス汚染とそ
の清浄化
○石田 有香¹、大久保 喬司^{1,2}、館野 香里^{1,2}、
飯名 瑞希^{1,2}、上野 渉¹、早尾 辰雄¹、鬼頭 靖司¹、
小久保 年章¹
(¹放射線医学総合研究所研究基盤センター、²株式会社
サイエンス・サービス)

- P-14 当施設におけるセンダイウィルス抗体陽性判定を受けての対応と頼末一検証と行動マニュアルの制定一
○井上 吉浩¹、石橋 崇¹、工藤 洋平¹、末田 輝子²、吉田 弥生³、松居 靖久¹、笠井 憲雪^{2,3}
(¹東北大学加齢医学研究所実験動物管理室、²東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設、³東北大学動物実験センター)
- P-15 Isolation of *Staphylococcus aureus* from Hairless SCID mouse in laboratory Animal facility
○Gwang-Hoon Lee¹, Jae-Bum Ahn^{1,2}, Euna Kwon², Sun-Deok Lee², Eun-Seok Oh², Jun-Won Yun², Byeong-Cheol Kang^{1,2}
(¹Graduate School of Translational Medicine, Seoul National University College of Medicine, Korea, ²Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital, Korea)
- P-16 ラットのイソフルラン吸入麻酔におけるミダゾラム、ブトルファノールの併用効果
○塚本 篤士、内田 佳歩、前里 静香、猪股 智夫
(麻布大学獣医学部実験動物学研究室)

脳・神経・行動

- P-17 機能獲得型変異ラットの解析によるTRPV3の痛覚への関与の検討
○丸山 基世^{1,2}、坂井 敦²、鈴木 秀典²、秋元 敏雄¹
(¹日本医科大学実験動物管理室、²日本医科大学薬理学分野)
- P-18 老化促進マウス (SAM) 系統間におけるサッカリン嗜好性の相違とその関連遺伝子Tas1r3の変異
○新美 君枝、高橋 英機
(独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター動物資源開発支援ユニット)
- P-19 フェルラ酸・オクチルガレート併用投与による行動学的障害の改善効果：アルツハイマーモデルマウスでの検討
○小山 直基、森 隆
(埼玉医科大学総合医療センター研究部)
- P-20 D1ドーパミン受容体の発現の減少はマウスの運動量の低下を誘導する
○笹岡 俊邦¹、佐藤 朝子²、大久保 直²、藤澤 信義¹、佐藤 俊哉^{1,2}、小田 佳奈子¹、前田 宜俊¹、田中 稔¹、山本 美丘¹、酒井 清子¹、神保 幸弘¹、千葉 さおり¹、馬川 恵梨子¹、横山 峯介^{1,3}
(¹新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野、²北里大学医学部実験動物学、³実験動物中央研究所)
- P-21 Ca_v2.1チャンネル変異マウスの老化によるカニン酸感受性変化に関する検討
○金 泰延、新美 君枝、高橋 英機
(独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター 研究基盤センター 動物資源開発支援ユニット)

- P-22 Effects of herbal essential oil on physical and psychological stress
Hyo Young Jung¹, Dae Young Yoo¹, Sung Min Nam¹, Jong Whi Kim¹, Jung Hoon Choi², Jung Bo Hyun³, Yeo Sung Yoon¹, ○In Koo Hwang¹
(¹Department of Anatomy and Cell Biology, College of Veterinary Medicine, and Research Institute for Veterinary Science, Seoul National University, Seoul 151-742, South Korea, ²Department of Anatomy, College of Veterinary Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea, ³Department of Oral Anatomy, College of Dentistry, Gangneung-Wonju National University, Gangneung 210-702, South Korea)
- P-23 Selegiline enhances cell proliferation and neuroblasts differentiation in the subgranular zone of the mouse hippocampus
○Dae Young Yoo¹, Hyo Young Jung¹, Sung Min Nam¹, Jong Whi Kim¹, Ki-Yeon Yoo², Jung Hoon Choi³, Yeo Sung Yoon¹, In Koo Hwang¹
(¹Department of Anatomy and Cell Biology, College of Veterinary Medicine, and Research Institute for Veterinary Science, Seoul National University, Seoul 151-742, South Korea, ²Department of Oral Anatomy, College of Dentistry, Gangneung-Wonju National University, Gangneung 210-702, South Korea, ³Department of Anatomy, College of Veterinary Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea)
- P-24 雌ラットへの生後24時間以内のEE曝露が大脳皮質と海馬のestrogen receptor(ER) α , β 発現に及ぼす影響
○立川 直之¹、志賀 健臣¹、中村 孝博¹、小峰 千亜希¹、堀井 康行²、渡辺 元^{3,4}、田谷 一善^{1,3}、溝口 康¹、吉田 緑⁵、川口 真以子¹
(¹明治大学農学部農学科、²国立遺伝学研究所、³東京農工大学、⁴岐阜大学大学院連合獣医学研究科、⁵国立医薬品食品衛生研究所)
- P-25 生後24時間以内の雌ラットへのethynyl estradiol曝露が受動回避学習に及ぼす影響
○田邊 郁也¹、大河原 利¹、小峰 千亜希¹、吉田 緑²、川口 真以子¹
(¹明治大学農学部動物環境学研究室、²国立医薬品食品衛生研究所)
- P-26 養母交換が雄HATANOラットの受動回避学習へ及ぼす影響
○大河原 利¹、佐藤 洗輔¹、中嶋 慎吾¹、太田 亮²、堀井 康行³、川口 真以子¹
(¹明治大学農学部農学科、²食品薬品安全センター秦野研究所、³国立遺伝学研究所)
- P-27 三軸加速度センサを用いたラットの行動解析
○小林 辰徳¹、篠澤 由晃¹、塚本 篤士¹、千田 廉^{2,3}、猪股 智夫¹
(¹麻布大学獣医学部実験動物学研究室、²バイセン株式会社、³甲南大学フロンティア研究推進機構)

発生工学 I

- P-28 熊本大学CARD主催によるマウス生殖工学技術研修会
 ○春口 幸恵^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-29 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—体外受精—
 ○中牟田 裕子¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-30 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—胚移植—
 ○竹下 由美^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-31 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—帝王切開—
 ○宮川 あい^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-32 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—胚の凍結保存—
 ○近藤 朋子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-33 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—精子凍結保存—
 ○福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-34 熊本大学CARDにおけるマウス生殖工学技術—精巢上体尾部の冷蔵保存—
 ○梅野 智子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-35 20年間凍結保存したC57BL/6マウス精子を用いた体外受精成績
 ○坂本 亘¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
 (1)熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、(2)九動株式会社
- P-36 野生由来マウス3種(*M. musculus*, *spretus*, *spicilegus*)の効率的な保存と産子獲得
 ○持田 慶司、長谷川 歩未、濱 大樹、大高 直樹、伊集院 麻衣子、田熊 究一、橋本 美知子、高島 梨香、平岩 典子、目加田 和之、吉木 淳、小倉 淳郎
 (理研バイオリソースセンター)
- P-37 Methyl-beta-cyclodextrin処理後、真空乾燥・室温保存したマウス精子の受精能および発生能
 ○中村 衣里、多田 昇弘
 (順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター)
- P-38 近交系成熟マウス卵巣内初期2次卵胞を用いた体外発育操作の試み
 ○安齋 政幸¹、崎田 恵²、東 里香³、西村 愛美⁴、中川 隆生⁵、井上 達也²、梶本 みずき²、細井 美彦^{1,2,3}
 (1)近畿大学先端技術総合研究所、(2)近畿大学生物理工学部、(3)近畿大学大学院、(4)関西医科大学、(5)(株)紀和実験動物研究所)
- P-39 マウス体外成熟培地へL-Carnitine添加が卵子細胞質内活性酸素種(ROS)への影響
 ○井上 達也¹、東 里香²、崎田 恵²、野田 義博³、梶本 みずき¹、中川 隆生⁴、細井 美彦^{1,2,5}、安齋 政幸⁵
 (1)近畿大学生物理工学部遺伝子工学科、(2)近畿大学大学院、(3)東京都健康長寿医療センター、(4)(株)紀和実験動物研究所、(5)近畿大学先端技術総合研究所)
- P-40 初期胚の体外培養がマウスの産仔数および個体の臓器重量に及ぼす影響
 ○小田 佳奈子¹、佐藤 俊哉^{1,2}、前田 宜俊¹、酒井 清子¹、神保 幸弘¹、藤澤 信義¹、横山 峯介^{1,3}、笹岡 俊邦¹
 (1)新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野、(2)北里大学医学部実験動物学、(3)公益財団法人実験動物中央研究所)

P-41 M H V 肝炎ウイルス汚染個体の大規模微生物クリーニングによるマウスの S P F 化

○鬼頭 靖司¹、和田 彩子²、伊林 恵美²、伊藤 正人²、林 真美¹、亀田 かがり¹、石田 有香¹、館野 真太郎³、塚本 智史¹、小久保 年章¹
(¹放射線医学総合研究所研究基盤センター、²(株)サイエンス・サービス、³(株)ネオス・テック)

微生物・感染・免疫

P-42 マウスノロウイルス持続感染細胞におけるウイルス粒子の分布

○花木 賢一¹、大岡 静衣¹、松浦 絵里²、小笠原 勝利²、花坂 智人²、石田 欣二²、平野 紀夫¹
(¹岩手医科大学医歯薬総合研究所実験動物医学研究部門、²岩手医科大学医歯薬総合研究所バイオイメージングセンター)

P-43 PCRによる寄託マウスのマウスノロウイルスとマウスアストロウイルスの汚染調査

○梶田 亜矢子、小川 ちいみ、坂田 ひろみ、結城 忍、吉木 淳、池 郁生
(理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室)

P-44 日本国内の免疫機能正常な実験動物ラットにおける *Pneumocystis carinii* の疫学調査

○保田 昌彦¹、内田 立樹^{2,3}、鎌井 陽子¹、位高 美香¹、森田 華子²、石田 智子²、川井 健司¹、林元 展人²
(¹公益財団法人実験動物中央研究所病理解析センター、²公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、³株式会社ジェー・エー・シー)

P-45 マウス高感受性インフルエンザウイルスの作製に関する検討

○中野 翼、田中 亮、柿沼 隼人、深見 茂美、鎌田 郁美、石川 明良、小松原 博文
(ハムリー株式会社筑波研究センター試験研究所)

P-46 環境中粒子状物質により誘発される呼吸器アレルギーの病態発現とヘルパー T 細胞分類の関連性について

○西野 里沙子、福山 朋季、渡部 優子、黒澤 好、上田 英夫、小坂 忠司、原田 孝則
(一般財団法人残留農薬研究所)

P-47 ヒト IL-15 遺伝子導入 NOG マウスはヒト末梢血由来成熟 NK 細胞を長期間維持できる

○片野 いくみ^{1,2}、高橋 武司¹、伊藤 亮治¹、花澤 麻美¹、高橋 利一¹、末水 洋志¹、河上 裕¹、伊藤 守¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門)

疾患モデル I

P-48 筋ジストロフィーモデルマウス (C57BL/10Sc-mdx) の背景データの解析 (第2報)

○後藤 貴之¹、保田 昌彦²、下村 千恵¹、西脇 恵¹、伊藤 美穂¹、水澤 卓馬²、何 裕遥²、米田 真央²、小倉 智幸²、高橋 利一²、篠原 秀季¹
(¹日本クレア株式会社技術部、²公益財団法人実験動物中央研究所)

P-49 神経障害標的エステラーゼ遺伝子発現マウスの特性と有機リンの影響

本杉 奈美¹、山村 勇貴¹、三浦 浩美¹、大塚 正人¹、大久保 朋一²、吉野 美千代²、田中 正史¹、畑中 朋美¹、坂部 貢¹、○木村 穰¹
(¹東海大学医学部基礎医学系、²東海大学伊勢原研究推進部生命科学統合支援センター)

P-50 日本マウスクリニックにおけるマウス社会行動評価系の確立

○柏村 実生¹、山田 郁子¹、串田 知子¹、川原 信子²、古瀬 民生¹、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム、²株式会社ジェー・エー・シー)

P-51 PDX-1 ノックアウトマウス開発の試み

○橋本 晴夫¹、原口 清輝²、香川 貴洋¹、位高 美香¹、上迫 努¹、高橋 利一¹、川井 健司¹、末水 洋志¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²畜産草地研究所)

P-52 常染色体劣性形質を示す雄性生殖器疾患モデルマウスの確立と発生機構の解明に向けて

○金田 秀貴¹、三浦 郁生¹、福村 龍太郎¹、鈴木 智広¹、古瀬 民生¹、山田 郁子¹、小林 喜美男¹、土岐 秀明¹、権藤 洋一¹、山田 源²、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²和歌山医科大学)

P-53 Antioxidative effect of *Styela clava* tunics extract on the UV-induced skin aging in hairless mice

Eun Kyung Koh, Ji Eun Kim, Gun Go, Sung Hwa Song, Ji Eun Sung, Hyun A Lee, Chan Kyu Park, Hong Ju Son, Hee Seub Lee, Young Jin Jung, ○Dae Youn Hwang
(Department of Biomaterials Science, Pusan National University)

P-54 Therapeutic effects of selenium-loaded cellulose dressings on the surgical wound of diabetic mice

○Sung Hwa Song, Ji Eun Kim, Jun Go, Eun Kyung Koh, Ji Eun Sung, Hyun A Lee, Chan Kyu Park, Dae Youn Hwang
(Department of Biomaterials Science, Pusan National University)

バイオリソース I

- P-55 第3期ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」
真下 知士、金子 武人、竹鶴 裕亮、ビルガー フォークト、吉見 一人、根小田 祐基、崔 宗虎、国広 弥生、林 真智子、服部 晃佑、濱地 駿佑、中西 聡、山崎 賢一、○庫本 高志
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
- P-56 医薬基盤研究所「実験動物研究資源バンク」ー疾患モデル動物提供による創薬支援
○小浦 美奈子、河相 晶子、中野 正文、森石 永子、野口 洋子、佐々木 光穂、鈴木 治、松田 潤一郎
(独) 医薬基盤研究所疾患モデル小動物研究室)
- P-57 東京理科大学生命医科学研究所ヒト疾患モデル研究センターの紹介
○久保 幸子、海部 知則、高橋 陽子、小川 修平、安倍 良、岩倉 洋一郎
(東京理科大学 生命医科学研究所 ヒト疾患モデルセンター)
- P-58 熊本大学CARDマウスバンクの活用
○岩本 まり¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)
- P-59 ゲノム編集により作製されたマウス系統の遺伝品質管理
○中田 初美、橋本 知美、綾部 信哉、目加田 和之、関 幸子、児玉 穂月、岡本 裕行、吉木 淳、小幡 裕一
(理研バイオリソースセンター)
- P-60 日本マウスクリニックにおける骨形態評価の国際標準化への取り組み
○廣田 和之¹、小澤 恵代¹、榎屋 啓志²、田村 勝¹、若菜 茂晴¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム、²理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型知識化研究開発ユニット)
- P-61 遺伝子トラップマウスを用いたlincRNAの生体内機能解析
○荒木 正健、中原 舞、柳井 千佳、山添 史雅、宮家 幹子、森田 彩香、岡本 頼幸、荒木 美幸、伊東 春香、山村 研一、吉信 公美子、荒木 喜美
(熊本大学生命資源研究・支援センター)
- P-62 Amplicon Sequence解析を用いたマウス系統の高速ジェノタイプング
○小瀧 逸人、福村 龍太郎、権藤 洋一
(理化学研究所バイオリソースセンター新規変異マウス研究開発)

- P-63 生物種を超えた表現型情報統合のためのデータ作成
○高月 照江¹、矢田 有加里¹、斎藤 実香子¹、高田 豊行²、真下 知士³、成瀬 清⁴、若菜 茂晴¹、田中 信彦¹、榎屋 啓志¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 哺乳動物遺伝研究室、³京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、⁴基礎生物学研究所 進化多様性生物学領域 バイオリソース研究室)
- P-64 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設(CARD)におけるCARD ENTRYシステムについて
○高橋 郁¹、岩本 まり¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

実験手技・代替・麻酔・鎮痛

- P-65 マウスにおけるイソフルラン吸入麻酔時のキャリアーガスの検討
○桐原 由美子¹、武智 真由美¹、黒崎 薫¹、小川 哲平²、小林 裕太³、齋藤 洋司⁴
(¹島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、²株式会社夏目製作所、³島根大学医学部基礎看護学講座、⁴島根大学医学部麻酔科学講座)
- P-66 成熟マウスにおける三種混合麻酔薬を用いた唾液採取後の回復期間の評価
○野原 正勝、藤平 篤志、高口 晃、天尾 弘実
(日本獣医生命科学大学応用生命科学部実験動物学教室)
- P-67 ラットおよびマウスにおける麻酔方法の相違による血液パラメーターに与える影響
○寺田 節¹、今 弘枝¹、秋元 敏雄²、篠田 元扶¹
(¹獨協医科大学実験動物センター、²日本医科大学実験動物管理室)

5月29日(金)

9:00-18:00

栄養・生理・生化学

- P-68 成熟雄マウスにおいて絶食時間の延長が再給餌後のレプチン分泌に与える影響
○茂川 拓紀、藤平 篤志、斎藤 凌吾、天尾 弘実
(日本獣医生命科学大学実験動物学教室)

P-69 イソフルラン吸入麻酔がSHR、WKYおよびSDラットの心血管機能に及ぼす影響

○加藤 弘毅¹、小澤 和典¹、牛田 和夫¹、若井 淳²、片平 清昭¹

(¹福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター動物実験分野、²福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設)

P-70 テレメトリー法によるラットの体温ならびに心循環機能に及ぼすイソフルラン吸入麻酔の影響

○小澤 和典、加藤 弘毅、牛田 和夫、片平 清昭
(福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター動物実験分野)

P-71 Effect of Oenanthe javanica extract on antioxidant enzyme in the rat liver

○In Hye Kim¹, Joon Ha Park¹, Ji Hyeon Ahn¹, Jeong-Hwi Cho¹, Jae-Chul Lee¹, Bai Hui Chen², Bich Na Shin², Hyun-Jin Tae³, Bo Hyun Jung⁴, Ki-Yeon Yoo⁴, Jung Hoon Choi⁵, Moo-Ho Won¹

(¹Department of Neurobiology, School of Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea, ²Department of Physiology, College of Medicine, Hallym University, Chuncheon 200-702, South Korea, ³Department of Biomedical Science and Research Institute of Bioscience and Biotechnology, Hallym University, Chuncheon 200-702, South Korea, ⁴Department of Oral Anatomy, College of Dentistry, Gangneung-Wonju National University, Gangneung 210-702, South Korea, ⁵Department of Anatomy, College of Veterinary Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea)

P-72 カニクイザル (*Macaca fascicularis*) における血液ガスおよび全血球計算基準値の確立に関する研究

○中山 駿矢^{1,2,4}、鯉江 洋¹、金山 喜一¹、山海 直²、片貝 裕子³、揚山 直英²

(¹日本大学生物資源科学部獣医学科、²独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医学科学研究センター、³社団法人予防衛生協会、⁴グラーヌ動物病院)

解剖・組織・病理・病態

P-73 マイクロミニピッグにおける雄の精子形成および生殖器の発達について

柴田 昌利、○寒川 彰久、塩谷 聡子、大竹 正剛
(静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター)

P-74 Alloxan 誘発糖尿病マウスにおける齧蝕の初期病変形成ー臼歯エナメル質の消失について

○丸山 早斗、尾崎 清和、松浦 哲郎
(摂南大学薬学部病理学研究室)

P-75 CF#1系由来遺伝性水晶体破裂マウスに関する研究：組織学的変化と原因遺伝子の探索

○岡田 利也、徳原 顕泰、中森 健人、長井 寛明、武下 愛、三野 将城、近藤 友宏
(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科実験動物学教室)

P-76 NSAIDs 誘発性マウス小腸潰瘍に対する5HT-4受容体作動薬の効果について

○藤澤 正彦¹、菅原 道¹、荒井 香南¹、大坂 優衣¹、丸山 基世²、袴田 陽二¹

(¹日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科、²日本医大医学部 実験動物管理室)

P-77 本態性高血圧症モデルラットSHRSP/Kpoにおける尿細管間質の線維化と腎機能不全の解析について

○水口 信行¹、加藤 貴史²、堀 奈津美³、伊藤 彰彦²
(¹近畿大学ライフサイエンス研究所、²近畿大学医学部病理学、³(株)ジェー・エー・シー)

P-78 転写因子MafBは、腫瘍随伴マクロファージを介して腫瘍の成長を抑制する

○今村 優希、濱田 理人、Mai Thi Nhu Tran、中村 恵、中根 彩、工藤 崇、高橋 智
(筑波大学 医学・医療系 解剖学・発生学研究室)

P-79 (C3HxBALB)F1-p53^{+/-}マウスの乳腺腫瘍の特性

○今井 俊夫、打屋 尚章、小松 輝夫
(国立がん研究センター研究所動物実験支援施設)

P-80 Comparison of immunoreactivities of calbindin-D28k, calretinin and parvalbumin in the striatum between young, adult and aged mice, rats and gerbils

○Ji Hyeon Ahn¹, Bai Hui Chen², Bich Na Shin², Jeong Hwi Cho¹, In Hye Kim¹, Joon Ha Park¹, Jae Chul Lee¹, Hyun Jin Tae³, Bo Hyun Jung⁴, Ki-Yeon Yoo⁴, Jung Hoon Choi⁵, Moo-Ho Won¹

(¹Department of Neurobiology, School of Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea, ²Department of Physiology, College of Medicine, and Institute of Neurodegeneration and Neuroregeneration, Hallym University, Chuncheon 200-702, South Korea, ³Department of Biomedical Science and Research Institute for Bioscience and Biotechnology, Hallym University, Chuncheon 200-702, South Korea, ⁴Department of Oral Anatomy, College of Dentistry, Gangneung-Wonju National University, Gangneung 210-702, South Korea, ⁵Department of Anatomy, College of Veterinary Medicine, Kangwon National University, Chuncheon 200-701, South Korea)

繁殖・系統開発

P-81 BMY法を用いたマウス人工授精法における凍結精子への応用

○伊藤 恒賢¹、高橋 康太郎²、宮坂 嶺²、大和田 一雄^{1,3}

(¹山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所動物実験センター、²山形大学医学部、³産業技術総合研究所)

P-82 カニクイザルの交尾行動に影響を及ぼすメスの条件

○小林 麻衣子¹、小山 高正¹、安保 康宏²、山海 直²
(¹日本女子大学大学院心理学研究科、²医薬基盤研究所霊長類医学科学研究センター)

P-83 未経産カニクイザルにおける室内繁殖の改善に関する検討

○下澤 律浩¹、東郷 陸²、大津 佳美²、成田 勇人²、保富 康宏¹
(¹独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医学科学研究センター、²一般社団法人予防衛生協会)

P-84 チョウセンシマリスにおける効率的な繁殖手法

○鎌田 泰斗、坂元 愛、坂井 敏明、関島 恒夫
(新潟大学大学院自然科学研究科)

発生工学II

P-85 人工miRNAを用いたマウス遺伝子ノックダウンシステムの検証

○三浦 浩美¹、木村 穰¹、佐藤 正宏²、大塚 正人¹
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²鹿児島大学医用ミニブタ先端医療開発研究センター臓器置換・異種移植外科分野)

P-86 CRISPR/Cas9システムを用いたゲノム編集によるノックアウトマウス作製の試み

○多田 昇弘¹、中村 衣里¹、藤谷 与士夫²、綿田 裕孝²、宮塚 健²
(¹順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター、²順天堂大学医学部代謝内分泌学講座)

P-87 gBlocks-based CrisprCas9システムによるノックアウトマウス作出条件の検討

○塚本 智史¹、伊林 恵美^{1,3}、和田 彩子^{1,3}、道川 祐市²、安井 孝彰⁴、矢野 実⁴、鬼頭 靖司¹、小久保 年章¹
(¹放射線医学総合研究所研究基盤センター生物研究推進課、²放射線医学総合研究所被ばく医療研究プログラム、³サイエンス・サービス、⁴Integrated DNA Technologies MBL 株式会社)

P-88 卵管を介したマウス2細胞期胚へのRNA導入法の開発とゲノム編集技術への応用

○高橋 剛^{1,2}、和田 健太²、三浦 浩美¹、佐藤 正宏³、大塚 正人¹
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東京農業大学大学院生物産業学研究所、³鹿児島大学医用ミニブタ・FSRC・遺伝子発現制御)

P-89 電気穿孔法を用いた効率的なマウスゲノム編集法

○中野 堅太¹、高梨 理絵子¹、清水 有紀子¹、金子 武人³、岡村 匡史^{1,2}
(¹国立国際医療研究センター研究所動物実験施設、²ヒト型動物開発研究室、³京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

P-90 CRISPR/Cas9システムを用いたヘアレスマウスの作製

○星野 貴一^{1,2}、加藤 花名子¹、飯島 沙織¹、谷本 陽子¹、石田 みゆき¹、高橋 智¹、水野 聖哉¹、杉山 文博¹、八神 健一¹
(¹筑波大学生命科学動物資源センター、²株式会社星野試験動物飼育所)

P-91 CRISPR/Cas9法により作出したFoxN1遺伝子ノックアウトラットの解析

○後藤 哲平^{1,2}、原 弘真¹、保地 眞一³、平林 真澄¹
(¹生理学研究所 行動・代謝分子解析センター、²名古屋大学大学院 生命農学研究科、³信州大学 繊維学部)

P-92 ラット胚移植における三種混合麻酔の有用性

○中務 胞、夏目 里恵、中本 千尋、崎村 建司
(新潟大学脳研究所細胞神経生物学)

P-93 ラットの体外受精における自発的活性化卵子および多精子受精卵低減の試み

○太田 有紀、大塚 純、金子 公幸
(株式会社ヤクルト本社中央研究所)

P-94 スクンス凍結胚からの個体復元の試み

○後藤 元人、上迫 努、江袋 進、高橋 利一
(公益財団法人実験動物中央研究所動物資源基盤技術センター)

P-95 コモンマーモセット凍結保存精子の運動性と体外受精能

○外丸 祐介¹、畠山 照彦²、吉岡 みゆき¹、信清 麻子¹
(¹広島大学自然科学研究支援開発センター、²広島大学技術センター)

P-96 卵巣刺激処置により得られたコモンマーモセット卵子のクオリティの検討

○神田 暁史¹、信清 麻子¹、吉岡 みゆき¹、畠山 照彦²
(¹広島大学自然科学研究支援開発センター、²広島大学技術センター)

P-97 コモンマーモセット着床前胚における空間的遺伝子発現パターンの変化と新規ES細胞の樹立

○後原 綾子¹、岡野 栄之²、佐々木 えりか^{1,2}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²慶応大学医学部生理学教室)

P-98 再生医療評価系として確立したセルトラッキングシステムの霊長類への応用

藤城 (伊藤) 康世^{1,2}、鯉江 洋²、柴田 宏昭¹、岡林 佐知³、片貝 祐子³、大野 智恵子³、金山 喜一²、保富 康宏¹、○揚山 直英¹
(¹医薬基盤研究所・霊長類医学科学研究センター、²日本大学生物資源科学部獣医学科・獣医生理学研究室、³予防衛生協会)

P-99 非組み込み型ベクターを用いたマーモセット体細胞初期化の試み

井上 慎一¹、○清水 善久¹、後原 綾子¹、岡野 栄之²、佐々木 えりか^{1,3}
(¹(公財)実験動物中央研究所、²慶應義塾大学医学部、³慶應義塾大学先導研究センター)

- P-100 異種間キメラによる幹細胞の多能性評価
 ○原口 清輝¹、松原 悠子²、細江 実佐²
 (1) (独) 農研機構畜産草地研究所家畜育種繁殖研究領域、
 2 (独) 農業生物資源研究所動物科学研究領域)

遺伝・育種・遺伝子機能

- P-101 コモンマーモセット個体識別のためのDNAサンプリング
 ○高林 秀次¹、加藤 秀樹^{1,2}
 (1) 浜松医科大学医学部附属動物実験施設、2 実験動物中央研究所)
- P-102 コモンマーモセット由来幹細胞で見られた核型異常の報告
 ○篠原 晴香¹、後原 綾子¹、井上 慎一¹、
 島田 亜樹子²、汲田 和歌子¹、岡原 純子¹、
 林元 展人¹、佐々木 えりか^{1,3}
 (1) 公益財団法人実験動物中央研究所、2 ジェーエーシー、
 3 慶應義塾大学)
- P-103 雄性生殖細胞特異的な発現を示すGPIアンカータンパク質複合体LY6K/TEX101の精子受精能における役割
 ○藤原 祥高、岡部 勝、伊川 正人
 (大阪大学微生物病研究所)
- P-104 Sox17ヘテロ雌マウスの着床におけるハプロ不全
 ○平手 良和¹、鈴木 仁美¹、川澄 みゆり¹、
 金井 克晃²、金井 正美¹
 (1) 東京医科歯科大学実験動物センター疾患モデル動物解析学分野、2 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医解剖学教室)
- P-105 C57BL/6 マウスの不可思議さ：その遺伝的背景に潜むSry-HMG box & Q-rich領域と性決定
 ○梅村 ゆりあ、橋本 理恵、表原 拓也、長原 大知、
 平野 哲史、久保田 直人、南 貴一、柳井 翔吾、
 万谷 洋平、横山 俊史、北川 浩、星 信彦
 (神戸大学大学院農学研究科応用動物学講座)
- P-106 C57BL/6 亜系統間を検出可能なSNPs マーカーセットの構築
 ○三浦 郁生、篠木 晶子、白田 大輝、鈴木 智広、
 金田 秀貴、古瀬 民生、小林 喜美男、山田 郁子、
 田村 勝、榎屋 啓志、若菜 茂晴
 (理研バイオリソースセンター)
- P-107 早期胚発生致死を示すWS変異マウスにおける原因遺伝子の同定
 ○水野 聖哉、高見 幸平、飯島 沙織、加藤 花名子、
 大徳 陽子、谷本 陽子、杉山 文博、八神 健一
 (筑波大学生命科学動物資源センター)

- P-108 マウスNSY系統の11番染色体に存在するストレプトゾトシン誘発糖尿病感受性遺伝子の解析

○前川 智樹¹、小林 美里²、伊藤 美佳子³、
 大野 欽司³、馬場谷 成⁴、上田 裕紀⁵、池上 博司⁴、
 堀尾 文彦²、高橋 雅英⁶、大野 民生¹
 (1) 名大院・医・実験動物、2 名大院・生命農・動物栄養情報、
 3 名大院・医・神経遺伝情報、4 近畿大・医・内分泌代謝糖尿病内科、
 5 阪大院・医・分子内分泌、6 名大院・医・腫瘍病理)

- P-109 コンジェニック系統を用いたELマウス2番染色体のてんかん形質QTLの連鎖解析

○小竹 航平¹、小林 千寿¹、場崎 恵太²、滝沢 達也¹、
 田中 和明¹
 (1) 麻布大学獣医学部、2 秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター動物実験部門)

薬理・安全性

- P-110 コンピュータ画像解析法の暗視野画像を利用した1-ブロモプロパンによるラット精子形態異常解析

○大谷 勝己¹、山崎 蒼²、ヴィージェ モーセン¹
 (1) 独立行政法人・労働安全衛生総合研究所 有害性評価研究グループ、2 昭和大・医)

疾患モデルⅡ

- P-111 小児臨床検体由来サンプルを用いた白血病モデルマウスの作製、維持および評価について

○土橋 悠¹、岡田 綾¹、樋口 はづき¹、片平 清昭¹、
 和栗 聡^{1,2}
 (1) 福島県立医科大学医療-産業TRセンター、2 福島県立医科大学解剖組織学講座)

- P-112 APC遺伝子変異導入NOGマウスの作製

○伊田 幸¹、後藤 元人¹、香川 貴洋¹、山本 真史¹、
 大島 正伸²、高橋 利一¹
 (1) 公益財団法人実験動物中央研究所、2 金沢大学がん進展制御研究所)

- P-113 IL-1の活性調節機構の遺伝子改変による新規炎症性疾患モデルマウス作出の試み

○角田 茂^{1,2,3}、清水 謙次^{2,4}、秋津 葵^{2,4,5}、久保 幸子^{2,4}、
 劉 陽^{2,6}、中嶋 明子²、宝来 玲子^{2,7}、石亀 晴道^{2,8}、
 松本 清司³、岩倉 洋一郎^{2,4,5}、久和 茂¹
 (1) 東京大学大学院農学生命科学研究科実験動物学研究室、2 東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センター、3 信州大学ヒト環境科学研究支援センター動物実験部門、4 東京理科大学生命医学研究所ヒト疾患モデル研究センター、5 CREST、6 上海交通大学仁濟病院幹細胞研究センター、7 Laboratory of Immunology, National Eye Institute, NIH、8 理化学研究所統合生命医学研究センター組織動態研究チーム)

P-114 富士北麓産カバノアナタケ熱水抽出物の *in vivo* 抗腫瘍活性の検討

○荒田 悟^{1,2}、前田 昌子³、稲垣 昌弘³、松橋 秀人²、望月 麻美子²、渡邊 潤¹
(¹昭和大学遺伝子組換え実験室、²昭和大学動物実験施設、³昭和大学富士吉田教育部)

P-115 SIV が感染可能なサル免疫細胞を持つマウスの作製

橋本 隼¹、藤田 悠平¹、三浦 智行²、○伊吹 謙太郎¹
(¹京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、²京都大学ウイルス研究所)

P-116 MafB はアポトーシス細胞除去に重要である。

○濱田 理人、トラン マイ、白石 莉紗子、浅野 圭吾、工藤 崇、高橋 智
(筑波大学医学医療系解剖学発生学研究室)

P-117 拡張型心筋症モデルマウス (4C30 マウス) の血漿エクソソームのプロテオーム解析

○鈴木 治、小浦 美奈子、内尾 (山田) こずえ、佐々木 光穂、松田 潤一郎
(^(独) 医薬基盤研究所疾患モデル小動物研究室)

P-118 Suppressive effects of diosgenin on skin inflammation of IL-4/Luc/CNS-1 transgenic mice

Ji Eun Kim, Gun Go, Eun Kyung Koh, Sung Hwa Song, Ji Eun Sung, Hyun A Lee, Chan Kyu Park, ○Dae Youn Hwang
(Department of Biomaterials Science, Pusan National University)

P-119 Aqueous extracts of *Liriope platyphylla* induced laxative effects on loperamide-induced constipation

○Ji Eun Kim, Gun Go, Eun Kyung Koh, Sung Hwa Song, Ji Eun Sung, Hyun A Lee, Chan Kyu Park, Dae Youn Hwang
(Department of Biomaterials Science, Pusan National University)

P-120 先天性後躯麻痺ラットの病理組織学的検討

○由利 梓¹、田中 美有²、桑村 充²、庫本 高志¹
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医病理学教室)

P-121 多発性嚢胞腎症のモデル動物である PCK ラットにおける Gi 作動薬の病態進行抑制効果

○釘田 雅則¹、吉原 大輔¹、西井 一宏²、鈴木 敦詞³、湯澤 由紀夫⁴、山口 太美雄⁵、堀江 重郎⁶、東原 英二⁷、長尾 静子¹
(¹藤田保健衛生大学疾患モデル教育研究センター、²藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション科学、³藤田保健衛生大学医学部内分泌代謝内科学、⁴藤田保健衛生大学医学部腎内科学、⁵マニトバ大学人類栄養学、⁶順天堂大学医学部泌尿器科学、⁷杏林大学医学部泌尿器科学)

P-122 高効率なゲノム編集技術を用いた免疫不全モデルマウスセットの作出

○佐藤 賢哉¹、大岩 亮^{1,2}、汲田 和歌子¹、Rachel Henry³、島田 亜樹子^{1,2}、野津 量子¹、伊藤 亮治¹、井上 貴史¹、岡原 則夫¹、岡原 純子¹、Edward Weinstein³、岡野 栄之⁴、佐々木 えりか^{1,4}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所応用発生学研究センター、²株式会社ジェー・エー・シー、³SAGE Labs、⁴慶應義塾大学)

P-123 中国雲南省昆明における 2 型糖尿病カニクイザルの報告

○関 あずさ、本田 晴哉、鈴木 信夫
(ハムリー株式会社つくば研究センター)

バイオリソース II

P-124 長期保存された各動物由来組織からの遺伝資源保存への試み

○東 里香¹、崎田 恵¹、中川 隆生²、高見 一利³、梶本 みずき⁴、井上 達也⁴、宮下 実⁵、細井 美彦^{1,4,5}、安齋 政幸⁵
(¹近畿大学大学院、²株式会社紀和実験動物研究所、³大阪市天王寺動物公園事務所、⁴近畿大学生物理工学部、⁵近畿大学先端技術総合研究所)

P-125 筋肉組織由来体細胞核を用いた各種保存方法の検討

○梶本 みずき¹、東 里香²、高見 一利³、宮下 実⁴、永井 宏平¹、崎田 恵²、井上 達也¹、細井 美彦^{1,2,4}、安齋 政幸⁴
(¹近畿大学生物理工学部遺伝子工学科、²近畿大学大学院、³大阪市天王寺動物公園事務所、⁴近畿大学先端技術総合研究所)

その他

P-126 口腔粘膜炎ラットへ炭素ローラーが与える影響

○本城 賢一¹、山本 俊郎¹、木村 功^{1,2}、植西 俊裕^{1,3}、金村 成智¹、喜多 正和⁴
(¹京都府立医科大学大学院医学研究科歯科口腔科学、²公立南丹病院歯科口腔外科、³京都第一赤十字病院歯科口腔外科、⁴京都府立医科大学大学院医学研究科実験動物センター)

P-127 ロシアハタネズミ (*Microtus levis*) における VFA 利用および発酵槽形成に関する研究

○池本 眞希¹、城ヶ原 貴通²、平井 洗次²、織田 鉄一²
(¹岡山理科大学大学院、²岡山理科大学理学部)

P-128 ビーグル犬を利用した人工呼吸関連肺炎を抑制する低侵襲性換気用気管チューブの開発

○藤澤 彩乃¹、下畑 宣行²、伊藤 聖子¹、中川 貴之¹、望月 学¹、藪島 由二³、福井 千恵³、河上 強志³、鄭 雄一¹、佐々木 伸雄¹
(¹東京大学、²立命館大学、³国立医薬品食品衛生研究所)

- P-129 蛍光タンパク質発現培養細胞を用いた変異原性試験法の開発
 ○望月 雄斗¹、久松 伸²、吉田 桃野²、和田 美帆²、飛田 華苗²、富田 祐一³、塚本 篤士⁴、伊藤 彰英²、其木 茂則²、猪股 智夫⁴
 (¹麻布大学獣医学研究科、²麻布大学生命・環境科学部、³麻布大学大学院環境保健学研究科、⁴麻布大学獣医学部)
- P-130 Relationship with SAA1-derived amyloid deposition and neutrition in a hepatic SAA1 transgenic mouse
 ○Hyerim Kim, Zae Young Ryoo
 (School of Life Sciences, BK21 Plus KNU Creative BioResearch Group, Kyungpook National University)
- P-131 A critical role of placenta growth factor in rheumatoid arthritis
 ○Jinhee Lee, Zae Young Ryoo
 (School of Life Sciences, BK21 Plus KNU Creative BioResearch Group, Kyungpook National University)
- P-132 Rgs19 in mouse embryonic stem cell plays critical role in proliferation and differentiation
 ○Song Park, Wan Soo Kim, Zae Young Ryoo
 (School of Life Sciences, BK21 Plus KNU Creative BioResearch Group, Kyungpook National University)
- P-133 Rescue of circling mice by tmie transgene
 ○Soyoung Jang, Zae Young Ryoo
 (School of Life Sciences, BK21 Plus KNU Creative BioResearch Group, Kyungpook National University)
- P-134 SAA-1 aggravates T cell mediated hepatitis via Toll-like receptor 2
 ○Wookbong Kwon, Zae Young Ryoo
 (School of Life Sciences, BK21 Plus KNU Creative BioResearch Group, Kyungpook National University)